

気象変化に対応する米づくりへ

Part4 着色粒対策のポイント

薬剤防除による斑点米カメムシ類による着色粒対策は、出穂期の判断が重要となります。薬剤防除は使用薬剤に応じた適期防除が必要です。また近年は、出穂後期に吸害する大型カメムシ類の発生も多発しており、多発時には2回目の防除が必要となります。

カメムシ被害 継続中
より詳細な技術対策は▶



斑点米カメムシ類の散布適期 2回目防除の実施も要検討



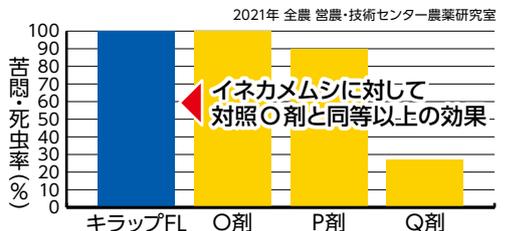
カメムシ防除薬剤 キラップの特長

斑点米カメムシ類に高い防除効果を示し、斑点米の発生を抑えます。

- 従来の殺虫剤とは作用性が異なりますので、他剤に感受性の低下した害虫にも効果が期待できます。
- 水田の主要な天敵であるクモ類に対して影響が少ない薬剤です。
- 滋賀県においては、薬剤抵抗性の確認はありません。



キラップフロアブルのイネカメムシに対する効果



pick up
営農指導
活動

JALレーク伊吹青年部・県外部員の視察受入れ

JALレーク伊吹青年部は、静岡県JAふじ伊豆青壮年部部員との情報交換として、当JAの部会長の農場にて視察受入れを行いました。両部会ともに水稻栽培の主体地帯で、地域計画の策定に伴う集積・集約状況の地域性や、規模拡大・水利環境による水稻省力化技術の取組み状況についての情報交換を行いました。共通話題は、今後を見据えたスマート農業の導入や近年の水稻酷暑対策について積極的な情報交換を行いました。



水稻育苗 生産者の皆様へ

育苗時の要注意!

近年の酷暑年で採取された水稻種子は休眠が深く、発芽しにくい場合があります。種子は、十分に浸種を行い積算平均温度100℃(平均水温10℃の場合10日間、鳩胸状に催芽したものを播種して下さい。十分な浸種時間が確保されるよう、ゆとりのある播種計画を立てましょう。